

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成22年5月13日 (2010.5.13)

【公開番号】特開2010-47839(P2010-47839A)

【公開日】平成22年3月4日 (2010.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-009

【出願番号】特願2009-201454(P2009-201454)

【国際特許分類】

B 2 2 F 9/02 (2006.01)

B 2 2 F 1/00 (2006.01)

B 2 2 F 9/10 (2006.01)

C 2 2 C 13/02 (2006.01)

C 0 1 B 33/02 (2006.01)

C 0 1 B 33/18 (2006.01)

C 0 1 B 31/36 (2006.01)

C 0 1 B 21/064 (2006.01)

C 0 1 B 17/20 (2006.01)

【F I】

B 2 2 F 9/02 A

B 2 2 F 1/00 A

B 2 2 F 1/00 R

B 2 2 F 9/10

C 2 2 C 13/02

C 0 1 B 33/02 Z

C 0 1 B 33/18 Z

C 0 1 B 31/36 6 0 1 B

C 0 1 B 21/064 D

C 0 1 B 17/20

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月29日 (2010.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

出発物質たる単一金属又は合金と、酸化物、珪化物、窒化物、炭化物又は硫化物の群から選択された成分の一つとからなる粒状生成物が更に微細化された粒子径 1 μm 未満のナノ粒子であって、内部に 200 nm 以下の結晶構造を有し点在物或いは空隙などにより相互に隔離されて集合したコンボジット構造を有する、
球状のナノ粒子。

【請求項 2】

請求項 1 に記載された粒子を含む粉末。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 4 】

高速回転体が円盤状又は円錐状の場合は、熔融金属が回転体のどの位置に供給されるかによって熔融金属にかかる遠心力が大きく異なるので、粒の揃った球状粉体を得にくい。高速回転する皿形ディスク上に供給した場合は、その皿形の周縁位置における均一な遠心力を受け粒の揃った小滴に分散して飛散する。飛散した小滴は雰囲気ガス中で急速に冷却し、固化した小粒となって落下し、回収される。